

岡崎地域活性化ビジョン検討委員会(第1回) 岡崎地域のポテンシャルと課題等

資料3



目 次

1. 岡崎地域活性化ビジョンの策定

2. 岡崎地域の概要

3. 岡崎地域のポテンシャル

3-1 近代化の歴史と革新性

3-2 優れた都市景観・環境

3-3 年間500万人超の集客力

4. 岡崎地域再整備の検討に向けて

（平成21年度 京都市岡崎地域再整備庁内ワーキングでの検討）

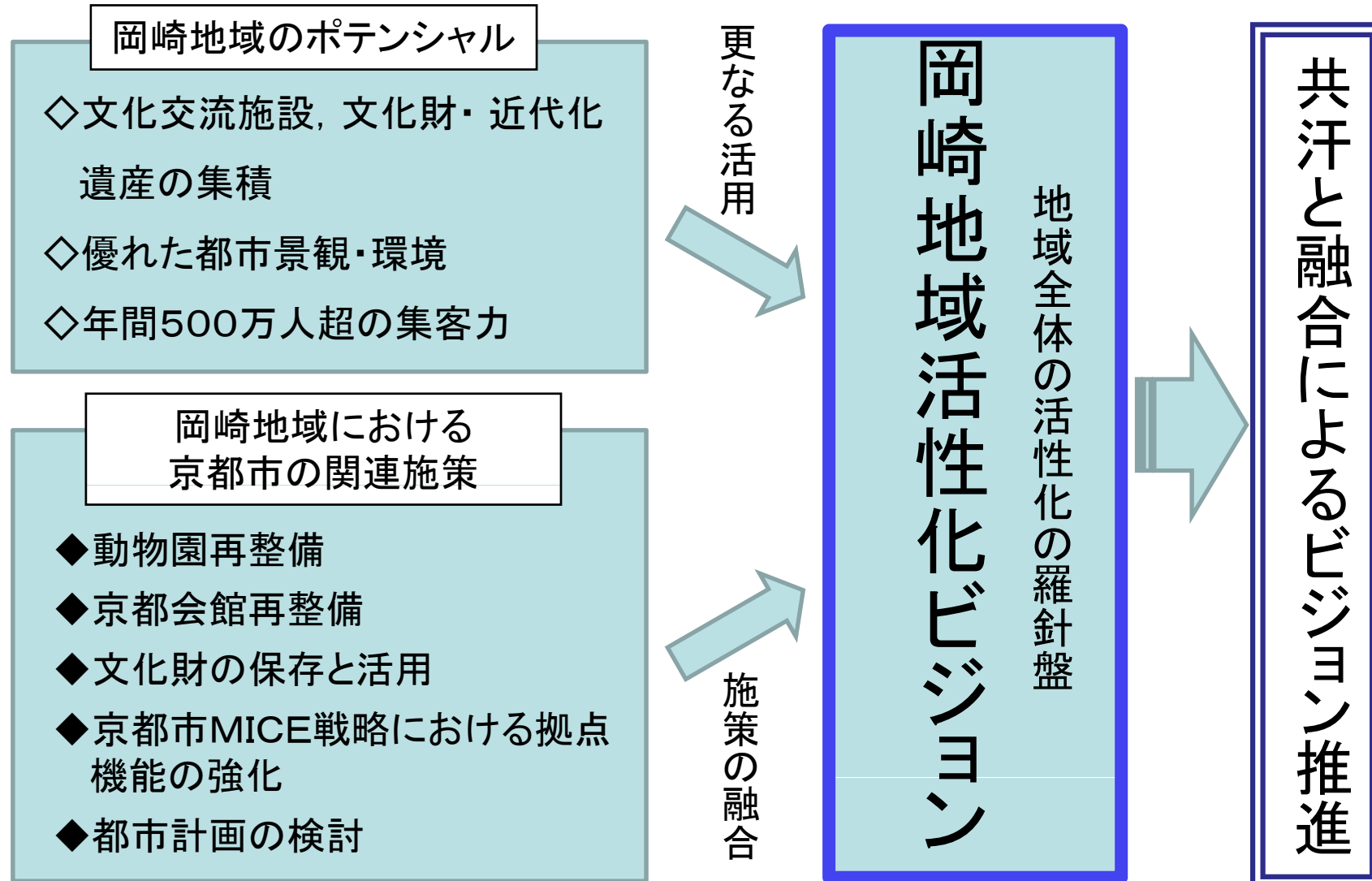
5. 市民の意識（市民アンケート調査より）

歴史的な写真の出典

「琵琶湖疏水の100年」「京都市動物園100年のあゆみ」「京都市政史第1巻」「写真でみる京都100年」「京都百年パノラマ館」「京都学
前衛都市・モダニズムの京都展1895-1930」「近代京都の名建築」「平安神宮百年史」「前川國男作品集—建築の方法」

1 岡崎地域活性化ビジョンの策定

○岡崎地域活性化ビジョン策定の背景



○岡崎地域活性化ビジョン策定の目的

①優れた都市景観・環境を将来に
保全再生

②世界に冠たる文化・交流ゾーンと
しての機能強化

③更なる賑わいの創出

○岡崎地域における京都市の関連施策

◆動物園再整備



明治36年に開園した、全国2番目の歴史を重ねた動物園。平成21年度から「近くて楽しい動物園」の再整備に着手。

◆京都会館再整備の検討

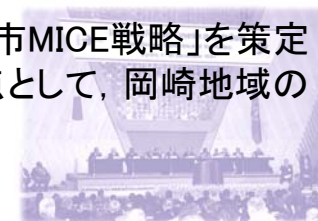
岡崎地域の賑わいの核として、府内随一の規模を誇る「文化の殿堂」京都会館の再整備の検討。

◆文化財の保存と活用

京都を代表する近代化遺産である琵琶湖疏水や、東山裾野の庭園群など岡崎地域の文化財の保存・活用と重要文化的景観※1の選定に向けた調査に着手。

◆京都市MICE戦略※2における拠点機能の強化

今後の観光振興の重要政策として「京都市MICE戦略」を策定（平成22年3月）。MICE戦略の重要拠点として、岡崎地域の機能を強化。



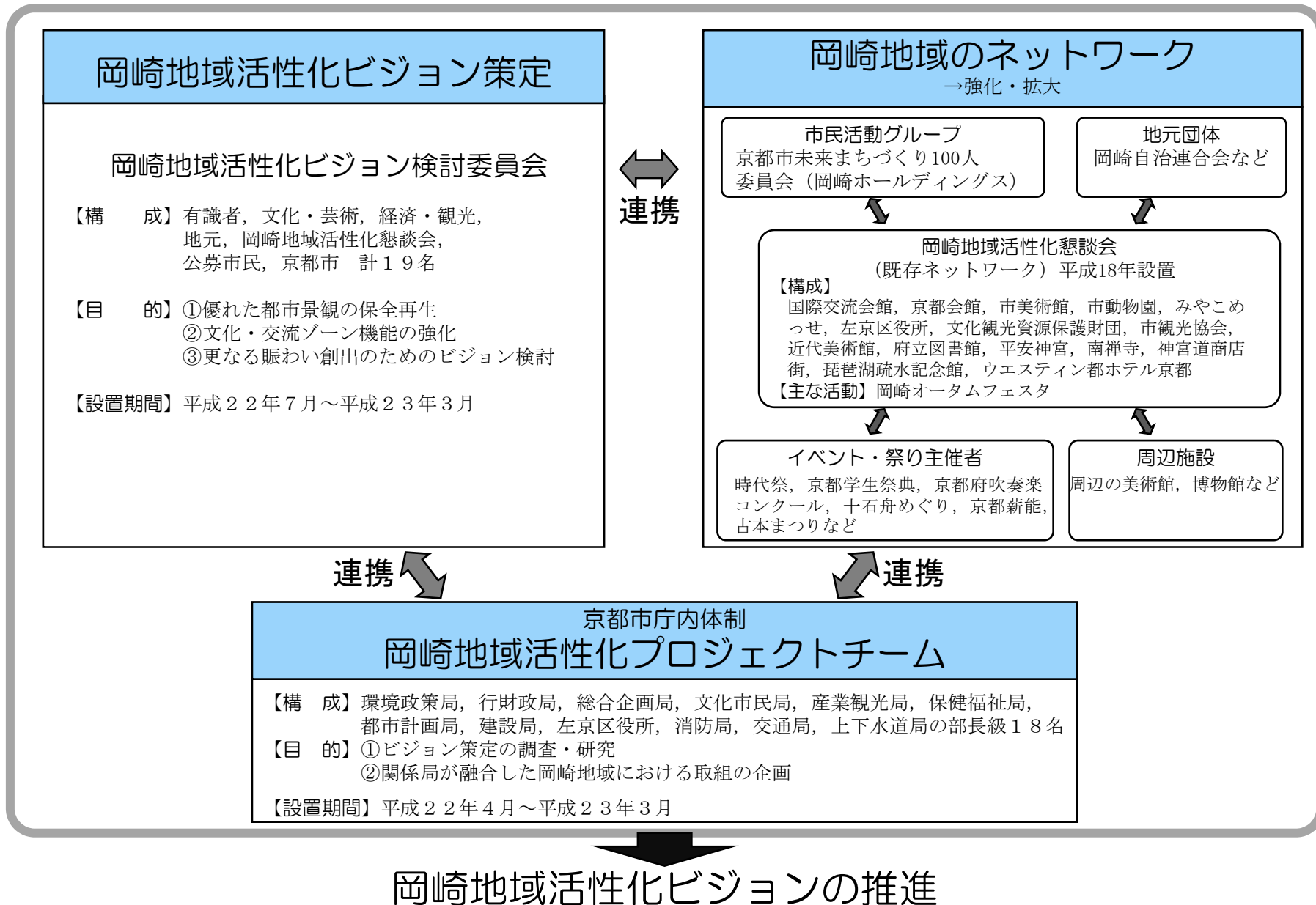
◆都市計画の検討

文化交流施設の改修や、賑わい施設の導入等、岡崎地域の活性化実現に向けた都市計画の検討を行う。

※1：重要文化的景観：平成17年の文化財保護法改正により、文化的景観（風土に根ざして営まれてきた人の生活や生業の在り方を表す景観地）も文化財の一つとして、保存と活用を図ることが位置付けられ、特に重要なものが「重要文化的景観」として選定される。

※2：MICE：Meeting（企業のミーティング等）、Incentive（報奨旅行等）、Convention（国際会議、学会等）、Event/Exhibition（イベント、見本市等）の総称。経済波及効果が大きく、京都ブランドの向上や観光振興上、MICE誘致は重要な政策。

○ビジョン策定と推進体制



2 岡崎地域の概要

○岡崎地域の位置



岡崎地域の位置：
都心部と東山山麓
の間に位置。

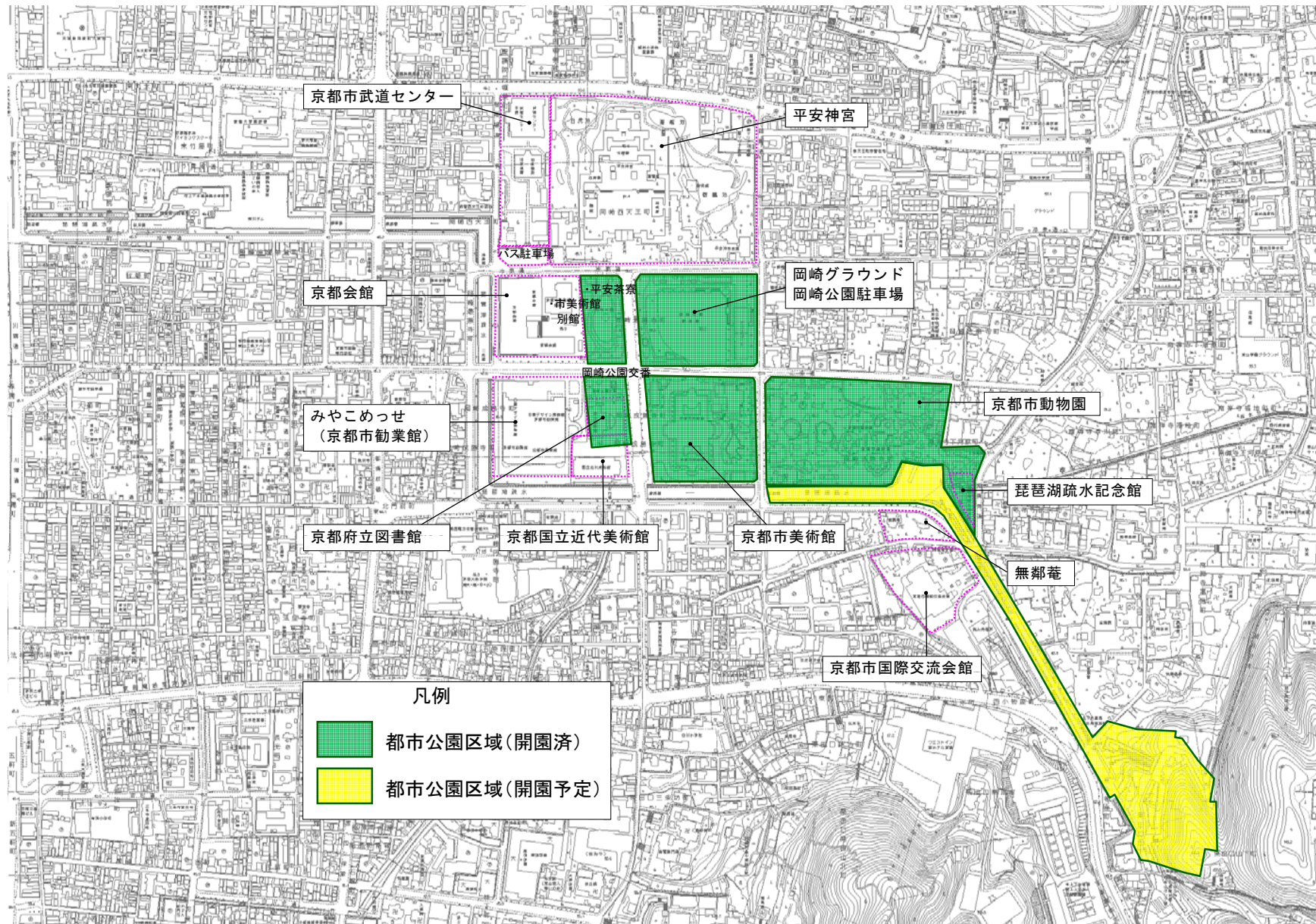
鉄道駅：
地下鉄東西線
東山駅，蹴上駅
京阪鴨東線
神宮丸太町駅

バス交通：
JR京都駅から
約30分
阪急河原町駅から
約15分
京阪三条駅から
約10分

○岡崎周辺図



《参考》 岡崎公園区域図



3 岡崎地域のポテンシャル



近代化の歴史と革新性

- 京都の近代化を牽引した進取の気風
- 近代化遺産

優れた都市景観・環境

- 優れたデザインの近代建築物群
- 水と緑が共生する豊かなオープンスペース
- 東山山麓に連なるスケールの大きな借景的眺望

年間500万人超の集客力

- 集積する文化交流・集客施設
 - ・公設の多彩な文化・産業・スポーツ・交流施設
 - ・民間の美術館・博物館等
- 豊富な文化財
- ハレ舞台での様々な祭り・イベント・催し

3-1 近代化の歴史と革新性

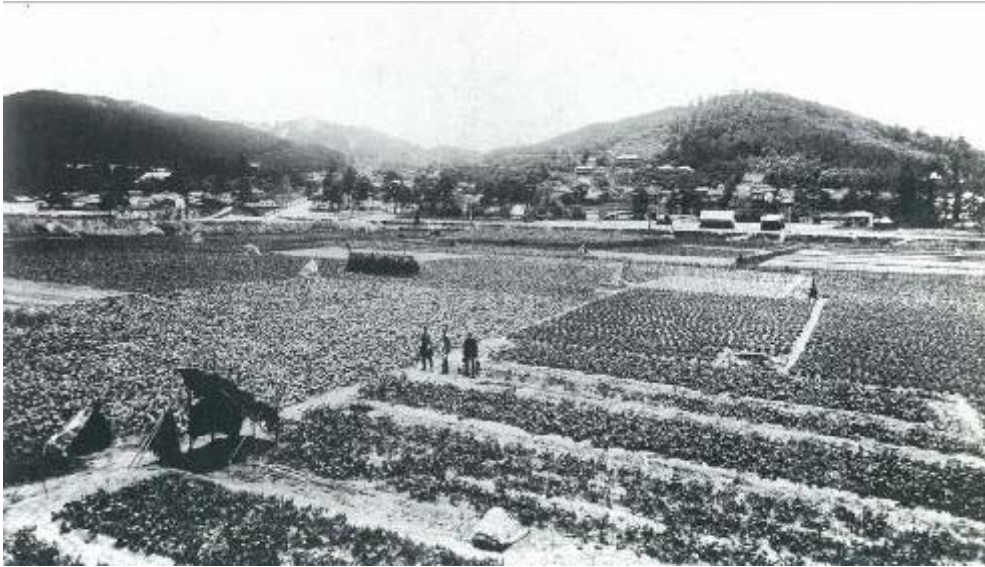
○京都の近代化を牽引した進取の気風

- ▶ 第4回内国勧業博覧会と平安遷都1100年紀年祭の開催
- ▶ 国内初の売電用水力発電
- ▶ 電力・水の利用

○近代化遺産

- ▶ 琵琶湖疏水とインクライン
- ▶ 疏水の水を引き入れた庭園群
- ▶ 近代建築物群

第4回内国勧業博覧会と平安遷都1100年記念祭(明治28年[1895])



明治26年[1893]頃の岡崎地域
現在の平安神宮のあたりから南禅寺と都ホテル方面を望む

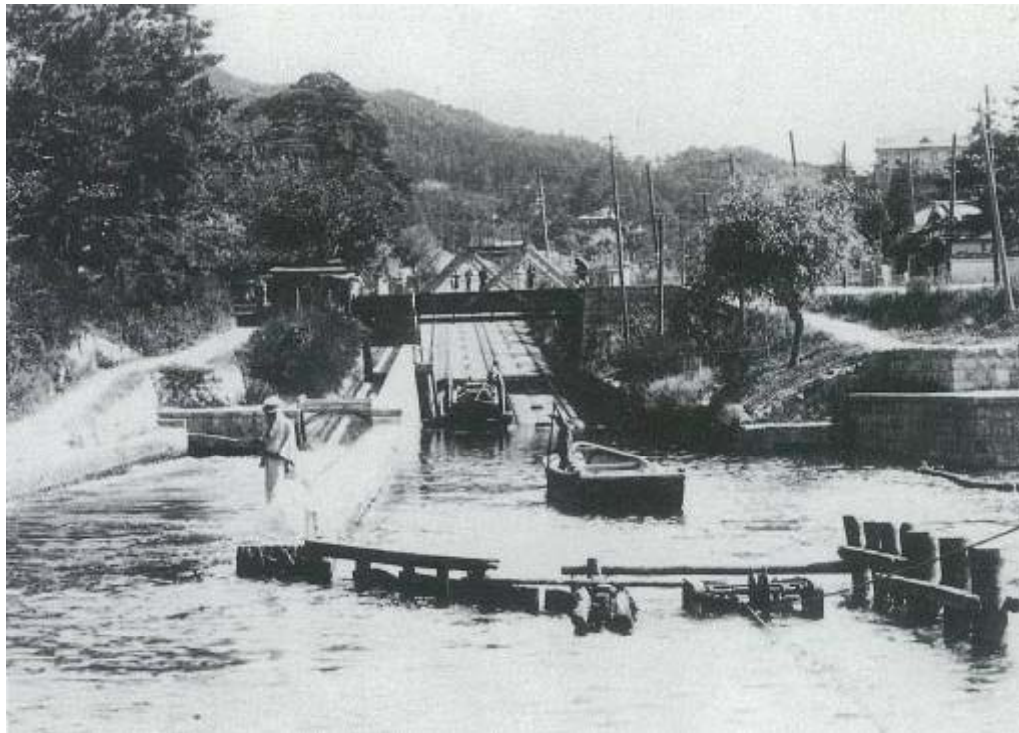


平安神宮地鎮祭の余興
(明治26年[1893])

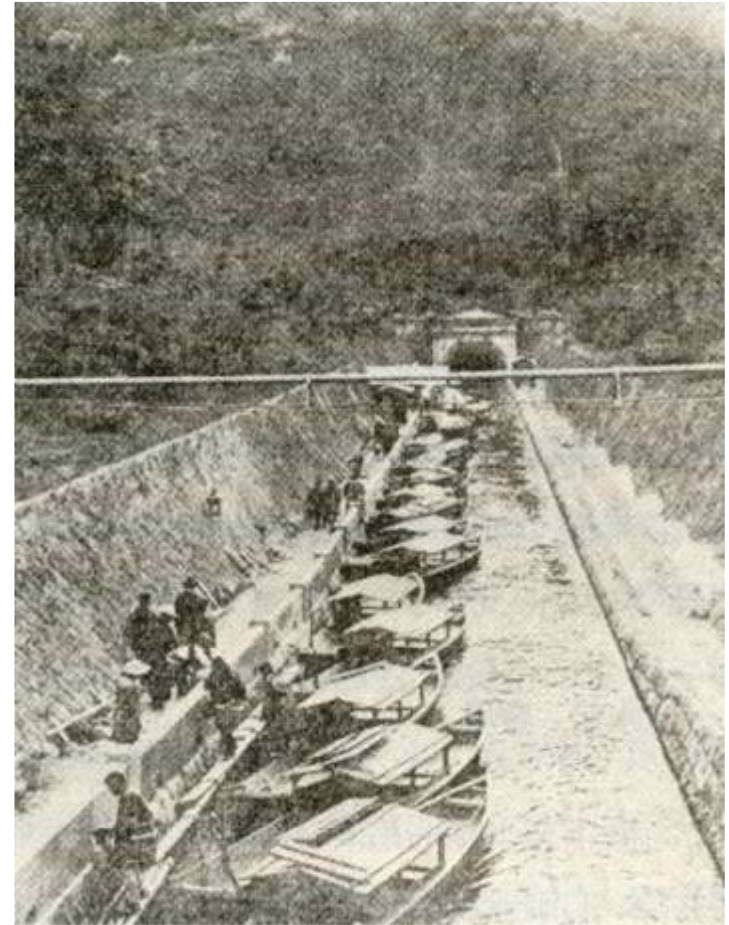
第4回内国勧業
博覧会の
会場門(左)と
会場模型(右)



琵琶湖疏水とインクライン

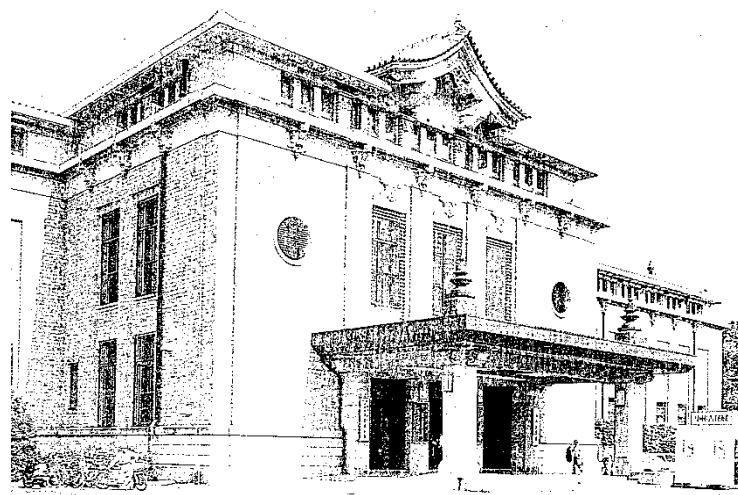


インクライン（大正期）

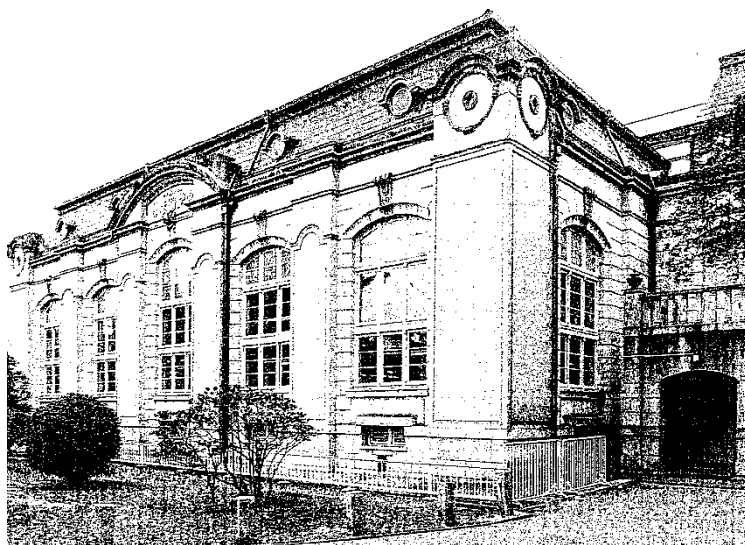


疏水下りで活躍した疏水屋形船
（大正9年[1920]）

近代建築物群



京都市美術館

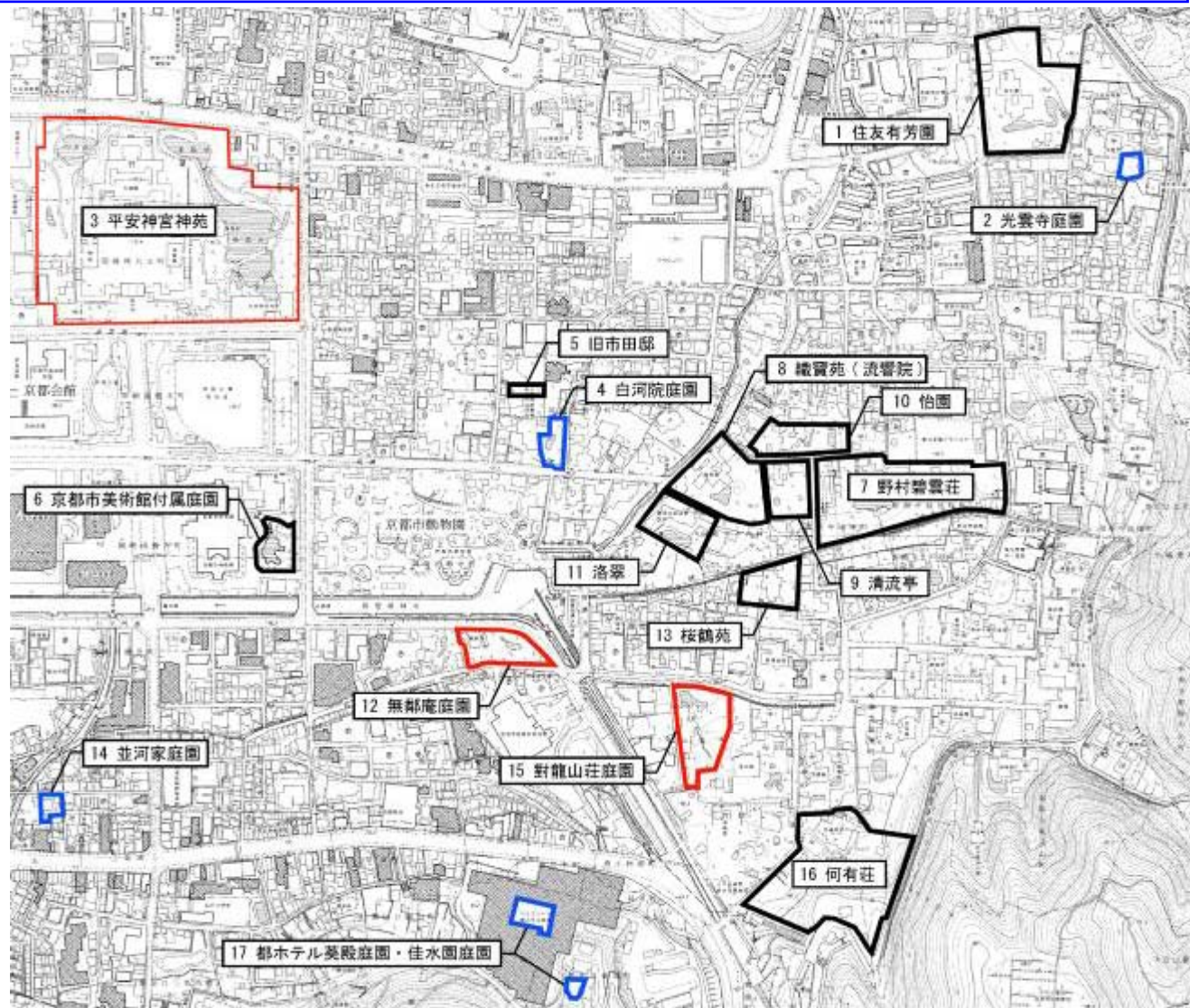


京都府立図書館



京都市美術館別館

疏水の水を利用した植治の庭(推定も含む)



— 国指定
— 市指定・登録
— 未指定

注) 植治の庭 近代日本庭園の先駆者とされる作庭家小川治兵衛(通称屋号: 植治)が手がけた庭

3-2 優れた都市景観・環境

○優れたデザインの近代建築物群

○水と緑が共生する豊かなオープンスペース

○東山山麓に連なるスケールの大きな借景的眺望

岡崎地域は、
都市景観100選
に選ばれた日
本を代表する
景観

国土交通省は、平成3～12年にかけて、国内の優れた都市景観を選定し、都市景観大賞「都市景観100選」として表彰しています。

岡崎地域は、近代の都市景観として高く評価され、初年度（平成3年度）に都市景観大賞を受賞しています。審査委員からは、文化都市のイメージにふさわしい知的な景観が創出されており、空間スケールの大きさも国際都市に似つかわしい水準に到達している、と評価されました。



二条通



岡崎公園



京都会館中庭



鳥瞰写真（平成21年[2009]撮影）



夷川ダム



疏水ベリの歩行者空間



南禅寺船溜まり



インクライン



水路閣



哲学の道

3-3 年間500万人超の集客力

○集積する文化交流・集客施設

- ・公設の多彩な文化・産業・スポーツ・交流施設
- ・民間の美術館・博物館等

○豊富な文化財

○ハレ舞台での様々な祭り・イベント・催し

○公設の多彩な文化・産業・スポーツ・交流施設

施設名	整備年	概要
無鄰菴	明治29年	元老山県有朋が造営した別荘。国の名勝。
京都市動物園	明治36年	全国で2番目に開園した歴史を持つ動物園。
京都市美術館別館	昭和5年	京都市公会堂東館として建設されたものを、平成12年に全面改修して使用。主に市民向けギャラリーとして使用されている。
京都市美術館	昭和8年	昭和天皇即位の大典を記念して建てられた、全国で2番目に古い歴史をもつ大規模公立美術館。
京都会館	昭和35年	京都最大の2000席規模のホールを持つ施設。モダニズム建築として評価されている。
京都国立近代美術館	昭和61年	国内に5つある国立美術館の一つ。
京都市武道センター	昭和62年	日本最古の演武場「旧武徳殿」,「本館(主競技場・補助競技場)」,「弓道場」,「相撲場」を備える総合武道施設
琵琶湖疏水記念館	平成元年	琵琶湖疏水竣工100周年を記念して整備された施設。琵琶湖疏水や水道事業に関する展示室,図書室等。
京都市国際交流会館		市民レベルの国際交流活動の拠点施設。相談, 情報提供コーナー, 喫茶・交流ロビー, 図書室・会議室等。
岡崎グラウンド	平成7年	野球場1面, テニスコート2面等からなるスポーツ施設。
京都市勧業館 みやこめっせ	平成8年	京都の産業振興を担う情報交流施設。展示室, 会議室の他, 伝統産業ふれあい館などを併設。
京都府立図書館	平成13年	旧館の外観を保全して建替えられた図書館。

○民間の美術館・博物館等

施設名	整備年	概要
藤井斉成会有鄰館	大正15年	滋賀県出身の実業家藤井善助の東洋美術コレクションを保存展示する美術館。日本の私立美術館の草分けの一つ。
京都観世会館	昭和33年	能や狂言が気軽に鑑賞できる能楽堂。
泉屋博古館	昭和35年	住友家の美術コレクション，特に中国の古美術を保存展示する施設。
観峰美術館	昭和58年	書道家・原田観峰の書を中心に氏が収集した中国の書画や民俗文化資料を展示する美術館。
野村美術館	昭和59年	野村財閥を築いた野村徳七のコレクションを元にした茶道と能の美術館。
細見美術館	平成10年	細見家3代のコレクションをもとに開館。江戸時代の絵画や平安時代の仏教美術などを中心に，日本の古美術・工芸を網羅するコレクション。

○公設の多彩な文化・産業・スポーツ・交流施設



京都市美術館



京都市美術館別館



京都会館



京都国立近代美術館



京都市勧業館みやこめっせ



京都市国際交流会館



琵琶湖疏水記念館



京都府立図書館



京都市武道センター



京都市動物園



岡崎グラウンド



旧武徳殿

○民間の美術館・博物館等



藤井斉成会有鄰館



京都観世会館



泉屋博古館



観峰美術館



野村美術館



細見美術館

○豊富な文化財

		建造物				名勝			
		京都市	左京区	岡崎周辺※		京都市	左京区	岡崎周辺※	
国	指定 (国宝)	40	4	1	南禅寺方丈	9	2	1	金地院庭園
	指定 (重文)	201	24	8	旧武徳殿など	35	9	5	無鄰菴庭園など
	登録	263	68	18	平安神宮など	0	0	—	
府	指定	44	4	1	永観堂など	1	0	—	
	登録	6	2	0		0	0	—	
市	指定	69	10	4	光雲寺など	28	5	2	白河院庭園など
	登録	24	2	1	藤井齊成 会有鄰館	3	0	—	

平成22年4月1日時点 単位:件数
(名勝は、国宝の欄に特別名勝を、重文の欄に名勝を分類した)

※岡崎周辺:岡崎, 南禅寺町, 永観堂町に該当するものを抽出

○有名社寺(平安神宮, 南禅寺, 禅林寺(永観堂)等)



平安神宮



南禅寺



平安神宮 神苑



南禅寺 三門



禅林寺(永観堂)

○ハレ舞台での様々な祭り, イベント, 催し

＜代表的な祭典, イベント＞



時代祭



京都学生祭典



岡崎オータムフェスタ



岡崎桜回廊十石船めぐり



紅しだれコンサート
(平安神宮)



京都薪能(平安神宮)



成人式(平安神宮)



日展 京都展(市美術館)



京都合唱祭(京都会館)



京都府吹奏楽コンクール
(京都会館)

4 岡崎地域再整備の検討に向けて

(平成21年度 京都市岡崎再整備庁内ワーキングでの検討)

4-1 岡崎地域の課題

- 地域内の土地利用や施設現況と、都市計画や景観の規制が不一致な状態にあり、都市計画制限上の新しいビジョンが必要
- 多様な施設と自然資源が集積した地域ポテンシャルの活用が不十分
- 周辺地域からの人の流れが弱い
- 岡崎地域全体のエリアマネジメントの仕組みが不足

4-2 岡崎地域の将来像

①優れた景観や都市環境を有した 国際都市・京都の顔となる地区

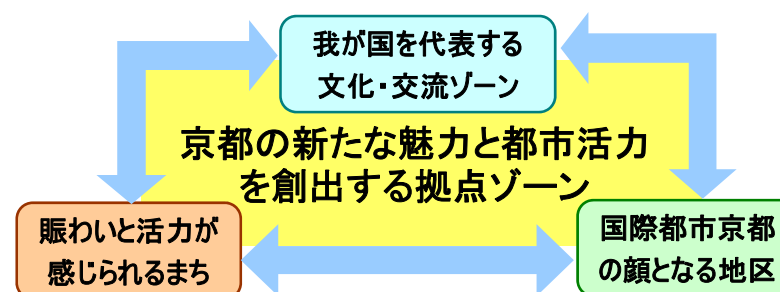
- 水と緑が溢れる充実したオープンスペースが市民や国内外からの来訪者に開放された、国際観光文化都市・京都の顔となる地区。
- 環境モデル都市京都が進める低炭素型まちづくりのモデル地区。

③賑わいと活力が感じられるまち

- 歩いて楽しい、賑わいのあるまち。
- 岡崎地域と周辺の観光ゾーンとの連携が図られた回遊性のあるまち。

②我が国を代表する文化・交流ゾーン

- 各施設が一線級の機能水準を維持し、質の高い文化芸術活動やイベントが活発に展開されているエリア。
- 国内外から多くの人を集め、様々な交流活動が活発に行われる、国際文化観光都市の拠点地区（MICE拠点）。
- 文化芸術の新たな活力が創出され、文化芸術や創造産業（文化・芸術・メディア産業）の次代を担う人材が育つ場。
- 施設の集積効果が発揮され、文化芸術等の情報発信機能が高いエリア。



4-3 岡崎地域再整備のコンセプト

水と緑とハレ舞台

文化芸術×環境首都—京都発“岡崎スタイル”

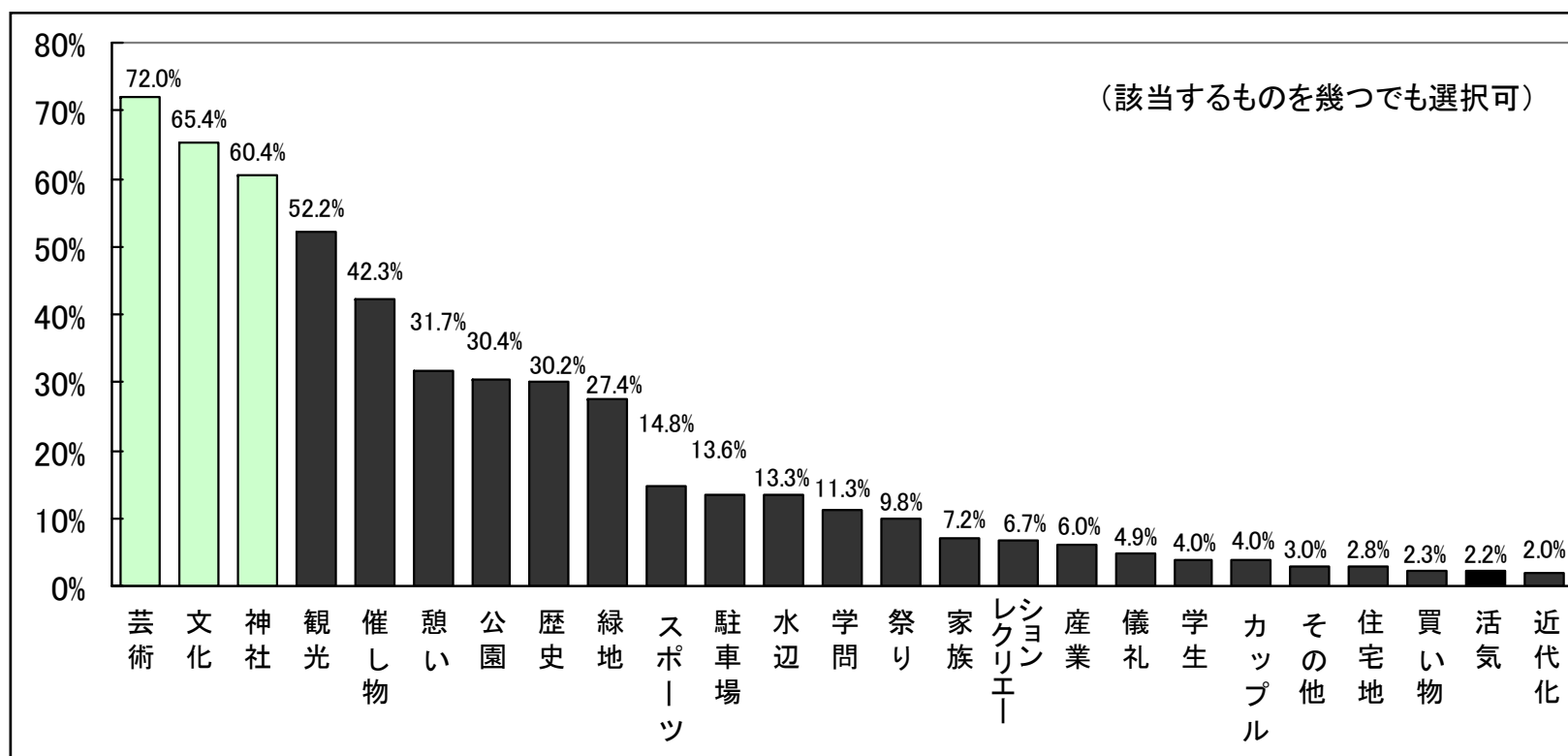
- 歴史的風致の維持向上と環境都市づくりの発信場～水と緑の軸・ネットワーク～
- 世界に冠たる文化・交流ゾーンとしての機能の向上～ハレ舞台づくり～
- 賑わいの創出と岡崎がつなぐ新たな観光資源の形成～賑わいと回遊の軸～

5. 市民の意識

〔調査概要〕 平成19年実施。無作為抽出した20歳以上の市民2,000人に郵送アンケート。有効回答数：1,084 （調査協力：立命館大学大学院）

○岡崎地域のイメージ

- 岡崎地域の印象については、「芸術」「文化」「神社」が6割を超えており、これらが岡崎地域のイメージを形成している。



○岡崎地域のシンボル

- 岡崎地域のシンボルだと思う施設は、平安神宮、京都会館、京都市美術館、京都市動物園の4施設が高い。

